

先進地視察報告

視察概要①

日時：11月21日(月) 11:00～13:00
場所：鹿児島県立楠隼中学校・楠隼高等学校
参加者：学校整備室職員4名、設計事業者3名、
対応者：楠隼中学校・楠隼高等学校 学校長・栄養教諭

1. 目的

学校給食やランチルームの施設状況や運営状況を視察することで、基本設計を進めるうえでの参考とする。

2. 視察先概要

(1)所在地 肝属郡肝付町前田 5012 番地

(2)学校概要 全寮制の中高一貫男子校
昼食食数…中学生 162 人、高校生 164 人、職員 47 人

(3)給食室及びランチルーム施設概要

建築年月 平成 26 年 11 月
施設構造 厨房…鉄筋コンクリート造 食堂…木造
運用方式 完全ドライシステム
調理ライン 1 献立ライン
業務委託 調理業務等民間委託(調理員概ね 7 名程度)
1 日 3 食調理、施設管理、食器等管理 など

3. 視察内容

■厨房

- ・文部科学省「学校給食衛生管理基準」に準ずる厨房ではあるが、全体的に手狭で、下処理や検収のスペースは足りていない。あえもの室、アレルギー食対応室はない。洗浄レーンも短い。
- ・トイレや更衣室、食品庫が不足している。食品が頻繁に配送されない場合は、広い食品庫と冷凍庫が必要。
- ・検収室は 2 重扉にしないと灰・虫が入る。

■ランチルーム

- ・全寮制のため、全生徒が 1 日 3 食を食べる。昼食は高校生がランチルームを 20 分×4 回入替で使用。中学生は教室。

- ・1テーブル6席想定で480人対応。現在は、コロナ対策のため1テーブル1人。
- ・カフェテリアのように調理員が皿に盛りつけたものをカウンター渡して取って食べる形態を想定して設計されたが、食育の観点から給食当番制で生徒が取り分ける形態に変更して運用しているので、配膳台の設置など、設計が運用にあっていないところもある。
- ・ランチルーム内に手洗い場あり。
- ・厨房内の調理器具を増やしたことから、温蔵庫はランチルーム内に移設した。
- ・ランチルーム内に柱がないので、ひろがりのある空間になっている。

入り口



献立ボード



手洗い場



食事時間

食事時間 (平日・休日)		
	高校生	中学生
朝食	6:40~7:20	7:20~8:00
平日昼食	学校昼食時間	
休日昼食	12:00~12:40	12:40~13:20
土曜授業・講座 昼食	12:30~13:10	13:10~13:50
夕食	17:30~18:30	
	18:30~19:10	19:10~19:50

withコロナ標準スタイル

6/29(金) ~

前室



前室入口



食品庫



洗浄室前



調理後冷蔵庫・保温庫



温蔵庫 (ランチルーム内)





視察概要②

日 時 : 12月6日(火) 13:30~15:15

場 所 : 熊本県山鹿市立山鹿小学校

参加者 : 学校整備室職員4名、学校教育課職員1名、設計事業者3名、
整備検討委員会委員4名、他6名

対応者 : 山鹿小学校(校長、教頭)、山鹿市教育委員会学校施設課

1. 目的

新設校と設計コンセプトが類似しており、分棟式の校舎での学校運営を視察することで、基本設計を進めるうえでの参考とする。

2. 視察先概要

(1)所在地 熊本県山鹿市山鹿 351

(2)学校概要

(令和4年5月1日現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
児童数	117人	103人	122人	125人	132人	112人	711人
学級数	4	3	4	3	4	3	21

(3)施設概要

構造規模 校舎棟 鉄筋コンクリート造+木造 2階 延床面積 6,998.346 m² ※増築前
体育館 鉄筋コンクリート造+木造 平屋 延床面積 1168.12 m²

工期 平成23年8月～平成25年6月
※令和2年度に特別支援教室を増築(延床面積 108.26 m²)

設計事業者 工藤和美+堀場弘/シーラカンズ K&H

経緯 平成25年4月に山鹿小学校と川辺小学校が統合し、新生山鹿小学校として新校舎でスタート。
給食室など、一部は既存施設を継続使用。

3. 視察内容

■学校施設について

- ・地域の木材を多用した温かみのある内装となっており、ガラス面も多く明るい。
- ・学校統合を機に新校舎を建設し、今年度で10年目。給食室やプールは既存校のものを使用。
- ・工期が3期となったのは、既存校舎を解体しながら新校舎の建設を進めたことによる。
- ・完成後に、特別支援学級の教室を増築した。
- ・R5近隣校との統合があり、特別支援学級の児童は44名が60名になる見込み。現行では不足するので、1階図書室を特別支援学級に転用する予定。
- ・教室前の多目的スペースを広くとることで、余裕をもって児童が動けたり、置き勉(持ち帰らない教材等を学校内に置くこと)のスペースが取れたりするなどの利点がある。
- ・1、2年生の教室には各教室別に昇降口と手洗い場を設けている。3年生以上は集団昇降口。
- ・ガラス面が多いことで、夏は暑い。エアコンを集中管理で18度に設定し、各教室でコントロールするようにしても室温が下がらないため電気代がかかる。昨年度、換気扇を追加した。
- ・各教室は電子黒板を設置したことで、児童のタブレットと効率的な教育がなされている。
- ・校庭に観覧席を追加設置した。山鹿灯笼祭りのメイン会場としての観覧席になるほか、運動会などでの保護者観覧席になり好評である。

- ・図書室内のPCコーナーをしていた場所に、R4から学童保育のスペースを設けることになった。全体的に閲覧用の机や椅子の設置は少ない。
- ・地域開放ラウンジは定時になると機械警備を設定することで、学校関係者以外が2階に侵入しないようにしている。
- ・校内のWi-Fi環境が職員室のみなので、印刷をするときは職員室に帰ってくる必要があり不便。
- ・児童用の更衣室を設けるべきだった。空き教室があれば更衣室として使えるが、現状は余裕がないため、男女交代で着替えるなどしている。職員用も不足している。

■学校運営について

- ・分棟式の学校施設で特に不自由や問題を感じることはない。職員室と各教室との間にインターホンを設置したり、教師コーナー電話を配置したりすることで、保護者からの連絡があった時など、わざわざ職員室に行く必要がないため時短になる。
- ・教室を使った教員が施設の戸締りをするのが基本になっていて、教頭が全てを戸締りするわけではない。児童が使うこともあるので、全体の見回りは教頭がする。
- ・各フロアの教師コーナーで教員は仕事をすることが多い。教室内に担任用の机もある。
- ・6年生が八千代座でする公演も、今年で22回目になった。それ以外にも4年生が太鼓保存会に太鼓を習うなど、地域との関わりは統合前から強かった。統合により特に何か変わったというようなことはない。
- ・通常は正門から車の通行はさせていないが、体育館に演奏用品を運び込むなどの時は運行させるなどの対応をしている。



図書コーナー（多目的スペース内）



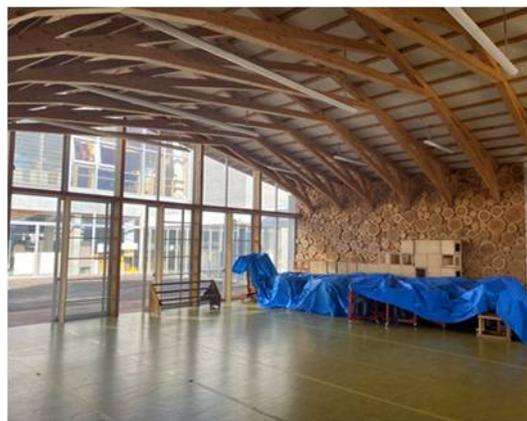
置き勉強スペース（多目的スペース内）



教師コーナー（多目的スペース内）



生活科室



1、2年生用昇降口



手洗い場（4年生側中庭）



外階段



階段下談話コーナー



掃除用具だな



3年生以上用の昇降口



家庭科室作業台



黒板



表現の階段



職員室



職員用メールボックス（職員休憩室）と
各クラス用プリントボックス（廊下）



職員休憩室



図書館



学童スペース（図書館内）

